

番号	2-2-7	表題	浅槽式反応槽での窒素削減に向けた新たな取り組みについて	
内容	<p>落合水再生センターは、放流水が河川水質に直ちに影響を及ぼす特徴があるため、水質のさらなる向上が課題である。しかし、処理能力や敷地に余裕がないことを鑑みると、新規施設の導入は容易ではない。また、反応槽の大部分が浅槽式であり内部に嫌気部分ができないことから窒素除去が容易ではない。</p> <p>そこで、既存の施設での取り組みとして、反応槽中段で制限曝気を行い疑似的な無酸素槽を設ける方法と、さらにそこへ沈殿下水をステップ流入させる方法の二種類を試みたところ、いずれも窒素削減の効果がみられた。</p>			
キーワード	窒素削減 浅槽式反応槽 中段制限曝気 ステップ流入			
処理区名	落合処理区	位置区分	処理場 水再生センター	
職種区分	水質	施策区分	高度処理	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	平成 26 年度	全体期間		
担当部署	西部第一下水道事務所 落合水再生センター 水質管理係 佐藤 麻貴			
発表履歴	局内			
	局外	平成 27 年度 第 52 回下水道研究発表会		
調査方法	直営調査			
関連情報				